

「市民ギャラリーの利活用策」に関するアンケート調査

1 調査目的

静岡市では、貴重な建築物である静岡庁舎本館の1階に市民ギャラリーを設置して、市民の自主的で創造的な文化活動を促進するため、絵画や書道、彫刻等の美術作品の展示会等の場を提供する施設としています。

静岡市民ギャラリーは、1989年の開館から35年が経過し、多くの市民の方にご利用いただいております。「ギャラリー」は画廊を意味し、美術品を展示、観賞する場所としてのイメージが強いですが、今後、より多くの方に文化活動の際にご利用いただけるように新たな取組や設備、備品の見直しを考えています。

このたび、市民の皆様の市民ギャラリーに対する現状へのご意見や利用状況等を把握し、今後の利活用策の参考とさせていただくために、市政アンケートモニター調査を実施しました。

2 調査対象

市政アンケートモニターとして委嘱した市内在住の男女150人

3 回収件数

145件（回収率約96.6%）

4 調査方法

インターネットによるアンケート調査

5 調査期間

令和5年8月24日（木）～令和5年8月30日（水）

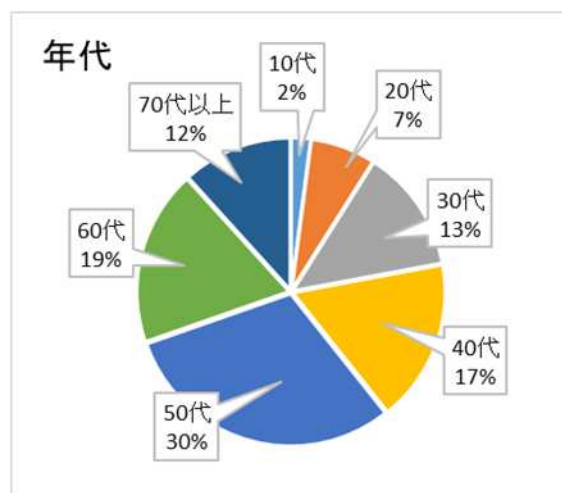
6 担当課

観光交流文化局 文化振興課

7 回答者の属性

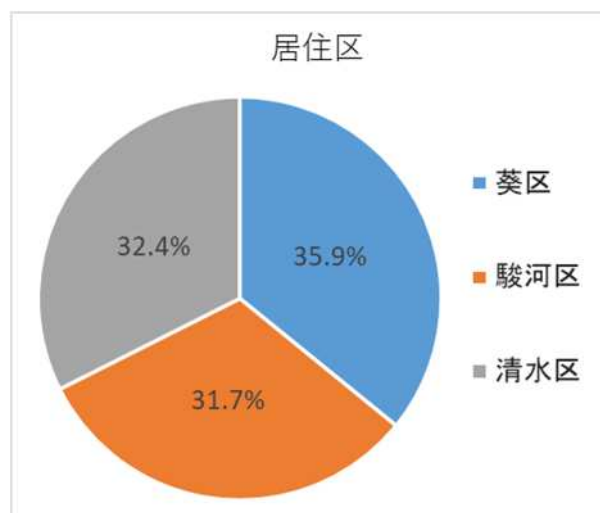
（1）年代

	（人）
	計
10代	3
20代	10
30代	19
40代	25
50代	44
60代	27
70代以上	17
総計	145



(2) 居住区

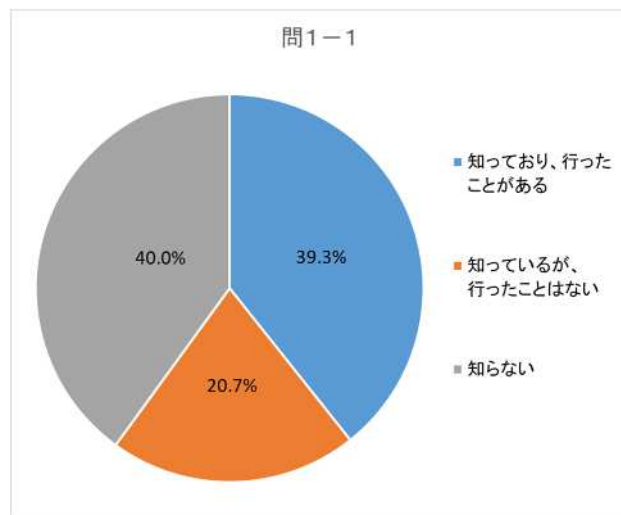
(人)	
区	計
葵区	52
駿河区	46
清水区	47
総計	145



8 調査結果・概要

問 1-1 静岡庁舎本館に「静岡市民ギャラリー」があることを知っていますか。

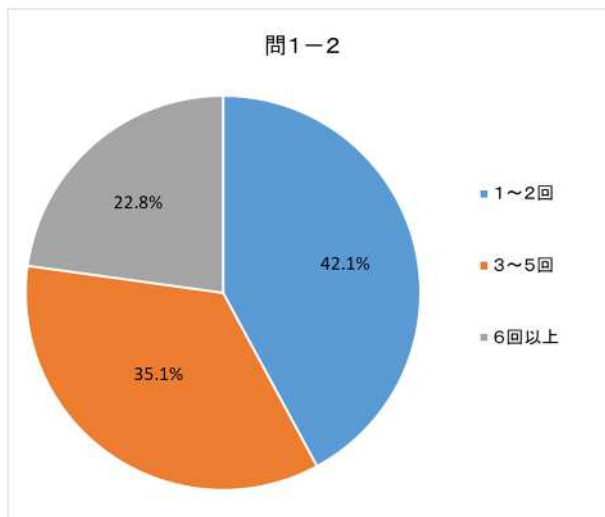
(人)	
問 1-1	計
知っており、行ったことがある	57
知っているが、行ったことはない	30
知らない	58
総計	145



問 1-2 「問 1-1」で「知っており、行ったことがある」と回答した方にお聞きします。

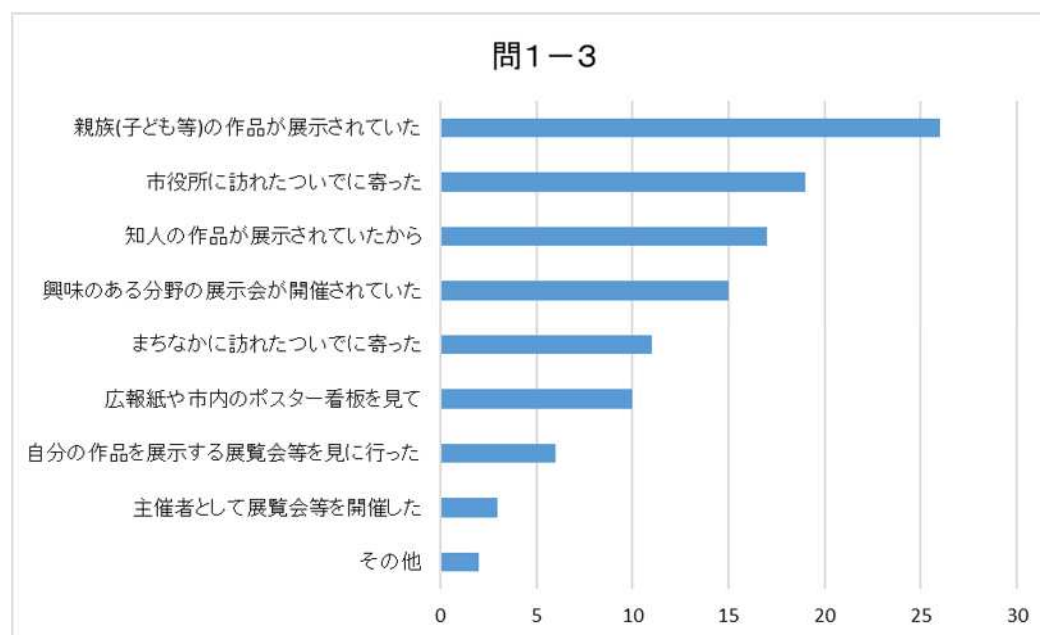
これまでに「静岡市民ギャラリー」へ何回来たことがありますか。

(人)	
問 1-2	計
1～2回	24
3～5回	20
6回以上	13
総計	57



問1-3 「問1-1」で「知っており、行ったことがある」と回答した方にお聞きます。
 あなたが静岡市民ギャラリーを訪問した動機で、該当するものを選んでください。
 (いくつでも) n=57

問1-3	(人)
親族(子ども等)の作品が展示されていた	26
市役所に訪れたついでに寄った	19
知人の作品が展示されていたから	17
興味のある分野の展示会が開催されていた	15
まちなかに訪れたついでに寄った	11
広報紙や市内のポスター看板を見て	10
自分の作品を展示する展覧会等を見に行った	6
主催者として展覧会等を開催した	3
その他	2
総計	109

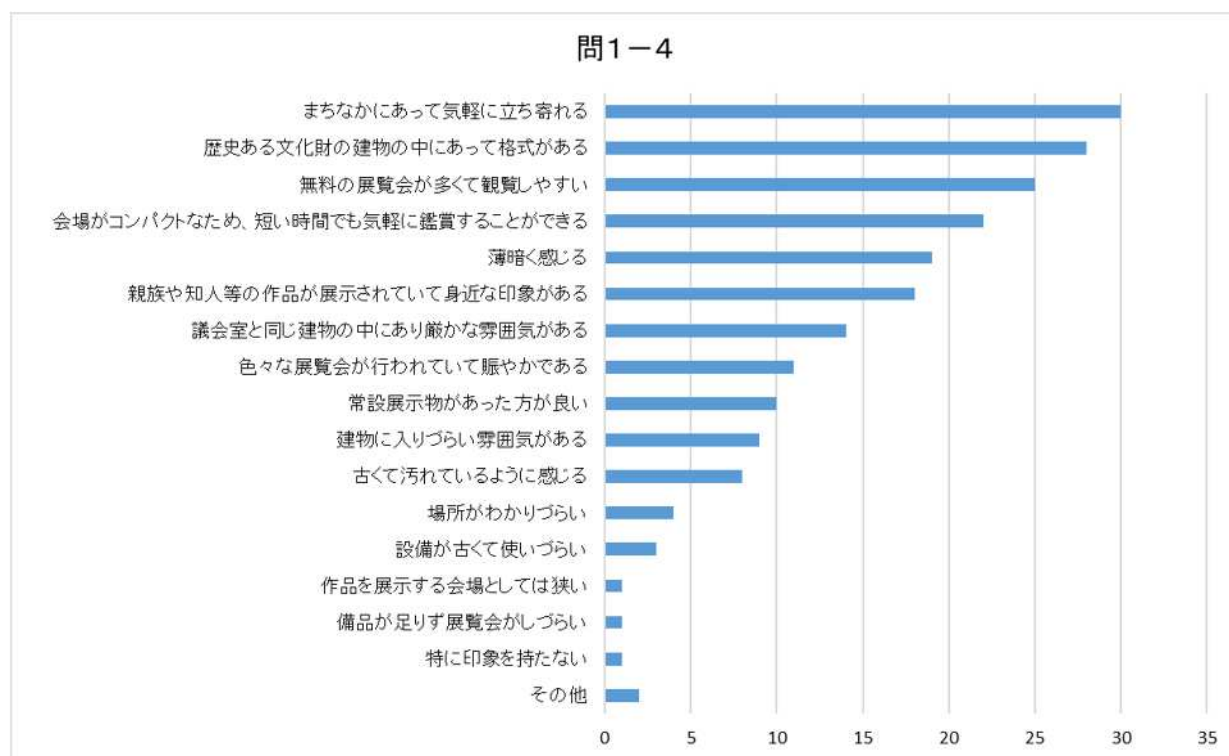


<その他の意見>

- ・玄関の化石の見学。県立博物館「ふじのくに地球環境史ミュージアム」のイベントで立ち寄ったこともある。(70代以上)
- ・近くに行った時にはほぼいつも寄ります。(70代以上)

問1-4 「静岡市民ギャラリー」へ訪れてどのような印象を持ちましたか。当てはまるものを選んでください。(いくつでも) n=57

問1-4	計
まちなかにあって気軽に立ち寄れる	30
歴史ある文化財の建物の中にあって格式がある	28
無料の展覧会が多くて観覧しやすい	25
会場がコンパクトなため、短い時間でも気軽に鑑賞することができる	22
薄暗く感じる	19
親族や知人等の作品が展示されていて身近な印象がある	18
議会室と同じ建物の中にあり厳かな雰囲気がある	14
色々な展覧会が行われていて賑やかである	11
常設展示物があった方がよい	10
建物に入りづらい雰囲気がある	9
古くて汚れているように感じる	8
場所がわかりづらい	4
設備が古くて使いづらい	3
作品を展示する会場としては狭い	1
備品が足りず展覧会がしづらい	1
特に印象を持たない	1
その他	2
総計	206



＜その他の意見＞

- ・特に静岡市や静岡市民に関係する身近な展示物や、歴史的な資料や記述などの展示物（例：今川家の歴史など。）新しい歴史博物館ができて、この面での役目は終わったのかも知れないが、身近な市民の活動の発表場所として非常に便利で立地にも恵まれて、活用しやすくまた訪れやすい展示場だと思っている。

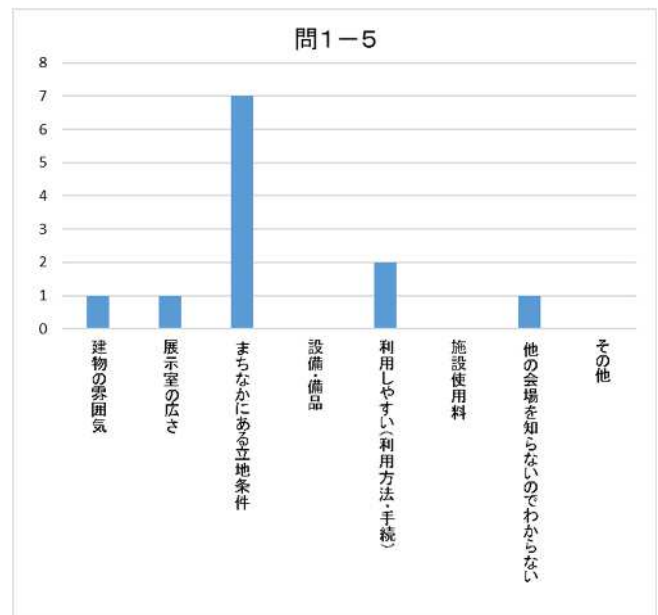
（70代以上）

- ・残念だが、来る人見る人が内輪のような内容。（50代）

問1-5 「問1-3」で「主催者として展覧会等を開催した」「自分の作品を展示する展覧会等を見に行った」と回答した方にお聞きします。

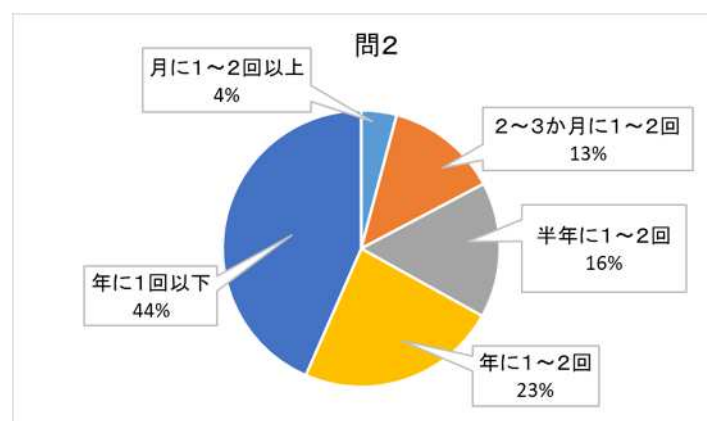
静岡市内には美術作品の展示会場として静岡市民文化会館や県民ギャラリーなどの展示ギャラリーがあります。それらと比較して静岡市民ギャラリーの魅力となりうる部分をお教えてください。 n=9

問1-5	計
建物の雰囲気	1
展示室の広さ	1
まちなかにある立地条件	7
設備・備品	0
利用しやすい（利用方法・手続）	2
施設使用料	0
他の会場を知らないのわからない	1
その他	0
総計	12



問2 あなたが芸術鑑賞を目的に美術館やギャラリーなどを訪れる頻度を教えてください。

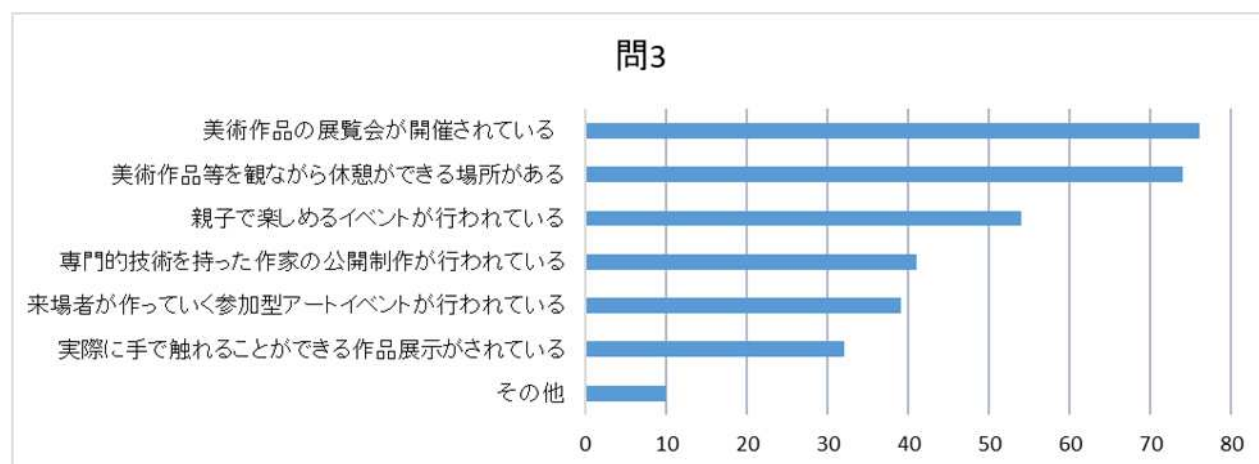
問2	計
月に1～2回以上	6
2～3か月に1～2回	19
半年に1～2回	23
年に1～2回	34
年に1回以下	63
総計	145



問3 どのようなことが実施されているギャラリーであれば、訪れてみたいですか。(いくつでも)

(人)

問3	計
美術作品の展覧会が開催されている	76
美術作品等を観ながら休憩ができる場所がある	74
親子で楽しめるイベントが行われている	54
専門的技術を持った作家の公開制作が行われている	41
来場者が作っていく参加型アートイベントが行われている(手形や足形をつけていく、シールや付せん紙を貼っていくなどによりひとつの作品をつくりあげるもの)	39
実際に手で触れることができる作品展示がされている	32
その他	10
総計	326

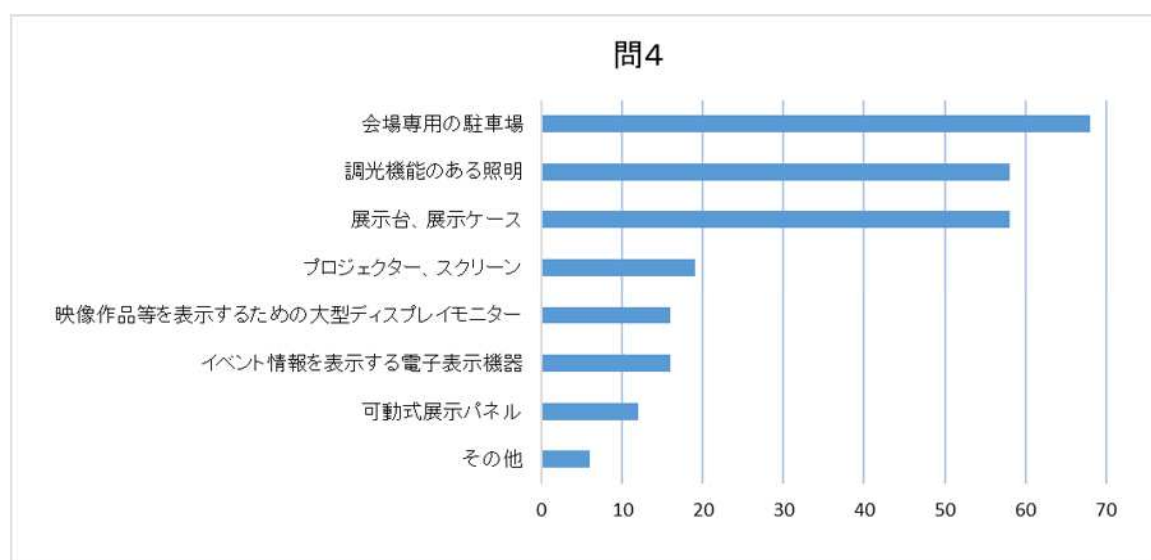


<その他の意見>

- ・「静岡庁舎本館という場所＋芸術系にあまり興味がない」から多分行かない。ジブリなどといったものならば興味がある。(50代)
- ・古時計、真空管ラジオ、蓄音機や昭和レトロ品(60代)
- ・美術に興味がないため行くことはない。(60代)
- ・入場無料で、駐車場がある、もしくは近くに格安のものが確保できる場合(30代)
- ・ワークショップで展示品の創作技法に触れられたり、展示者と交流ができる(30代)
- ・自分自身が興味をもてる内容。(60代)
- ・魅力的な展示がある。(特に教科書に出てくる作品が出てきていると意欲が上がる。)(20代)
- ・話題の技術を使った展示がある。全国的に名の知られているアーティストの展示である。巡回展示。(40代)
- ・美術的に価値があるもの(西洋の絵画や日本画、近代美術はあまり好まない)(50代)
- ・全て。(50代)

問4 もし、ご自身が展示会場での作品展示を検討する場合、特に、あると良い設備・備品は何ですか。（2つまで）

問4	計
会場専用の駐車場	68
調光機能のある照明	58
展示台、展示ケース	58
プロジェクター、スクリーン	19
映像作品等を表示するための大型ディスプレイモニター	16
イベント情報を表示する電子表示機器	16
可動式展示パネル	12
その他	6
総計	253



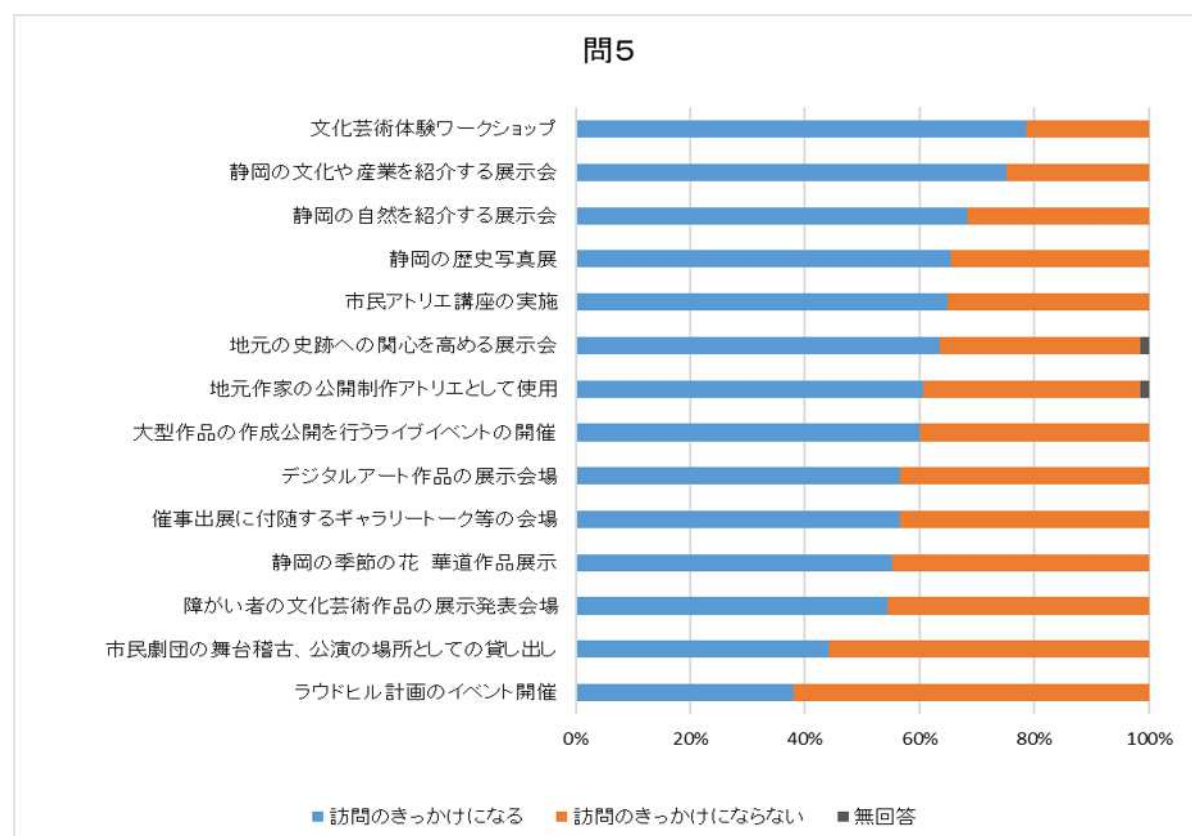
<その他の意見>

- ・ 作品を作る立場にないのでイメージがわからない（30代）
- ・ 作品を作ることがないため、展示はありえない。（60代）
- ・ そこへ行けば、何か癒しを感じたり、くつろげる空間だったり、落ち着く気がするとか、そのような空間作りが大切である気がします。なので、上記の様なものではなくても、隣接する庭にある一本の木、そしてその横にあるベンチで、展示品を見た後にいつもそこで時間を過ごすとか。お庭内の小さなコーヒーショップですぐすとか。リピーターになってもらえる環境作りも大切かと思います。（60代）
- ・ 休憩できるスペースと椅子などの設備（70代以上）
- ・ 大小高低差のある展示台、吊り下げ式で高さや位置を調整できるレール式の壁面展示の仕組み（40代）
- ・ 最近都会でやっているような名画の中に観客が入る（スクリーンなどに投影するなどして）感じのものに興味がある。（50代）

問5 次の展示・催しでご自身が市民ギャラリーに行くきっかけとなりうる事業を教えてください。

(人)

問5			
事業名	訪問の きっかけに なる	訪問の きっかけに ならない	無回答
文化芸術体験ワークショップ	114	31	0
静岡の文化や産業を紹介する展示会	109	36	0
静岡の自然を紹介する展示会	99	46	0
静岡の歴史写真展	95	50	0
市民アトリエ講座の実施	94	51	0
地元の史跡への関心を高める展示会	92	51	2
地元作家の公開制作アトリエとして使用	88	55	2
大型作品の作成公開を行うライブイベントの開催	87	58	0
デジタルアート作品の展示会場	82	63	0
催事出展に付随するギャラリートーク等の会場	82	63	0
静岡の季節の花 華道作品展示	80	65	0
障がい者の文化芸術作品の展示発表会場	79	66	0
市民劇団の舞台稽古、公演の場所としての貸し出し	64	81	0
ラウドヒル計画のイベント開催	55	90	0



(15) 上記のほか、静岡市民ギャラリーで行われていたら訪問してみたいと思うイベントがあれば自由にご記入ください。

- ・作家や画家の原画の展示など、市役所としての利用は無いため、わざわざ見に行きたいと思うものがあれば訪問したいです。(40代)
- ・現在、浜松でやっている山本二三展のような感じならば行きたい。今回、静岡から浜松まで見に行きました。(50代)
- ・地元に限らず、好きなアーティストの展示があれば行きます。(30代)
- ・個人のハンドメイド作品の展示(50代)
- ・子どもの作品を見に行くこと以外行ったことがないので…どんなイベントが開催されているのかという情報がもっと身近に得ることができれば、どんなイベントでも『行ってみたい』と思う機会が増えると思います。(40代)
- ・さくらももこ展のような親しみやすい展示(60代)
- ・小学生の未来の都市、子供達の興味はどんなのか知りたいです(60代)
- ・幅広い年齢層のこどもが喜ぶ企画(30代)
- ・転勤先から戻って20年になりますが、市民ギャラリーは全然知りませんでした。広報などに、予定など載せていますか？興味深いものがあれば覗いてみたいと思います。(70代以上)
- ・ライブパフォーマンスは、是非に(60代)
- ・地場産品を使用した新しい料理の試作、食事会。(60代)
- ・子どもたちの作品の展示(30代)
- ・子どもと楽しめるイベントをお願いしたい(60代)
- ・子どもが楽しめる企画(30代)
- ・今川氏に関する詳細な歴史資料的な展示(50代)
- ・親子で気軽に参加できるもの(30代)
- ・静岡県出身の作家さん達の作品を一斉に展示していたら行ってみたいです。どんな方々が居るのか、どんな作品があるのか知らないものもあると思うので。(40代)
- ・大道芸(50代)
- ・ベルテックス静岡が大好きなので、スポーツチームや団体とのコラボイベント。地元のアーティストに、チームの何かを創作して貰うとか。(50代)
- ・ワークショップ、作品の販売(50代)
- ・静岡市の成り立ちを教えてくれるイベント。他県出身なので、知らない事ばかりです。例えば、路面電車は、どこを走っていてなぜなくなったのかなど。(50代)
- ・文芸作品の朗読会(50代)
- ・陶芸体験など(50代)
- ・7月には七夕豪雨の清水の様子の写真展、夏には原爆被害の写真展などをしてくれたら、子供に見せてあげたい。そこに体験談なども書かれていたらなおいいなと思います。(40代)
- ・何でも展示催しがあれば寄りたい(70代以上)
- ・お抹茶を、お茶席で頂く(60代)

- ・ 静岡ゆかりのアーティストや作品（30代）
- ・ キャラクターの展示（20代）
- ・ シズラ、トロバー、あおいくんをテーマにしたアート&カフェなど静岡市のキャラクターたちをテーマにしたイベント（40代）
- ・ 議会の中なのだから市政の課題についての解説や議論点が分かる展示もいいのでは（50代）
- ・ 美術、演劇などにこだわらず、作家や音楽、トークショーなど、気軽に楽しそうと思える企画がもっとあるのではないのでしょうか？コンピューターのデジタルという最先端と、地元の伝統や史跡紹介という昔ながらの企画、とても両極端な提案で、もう少しその中間の企画を。（60代）
- ・ 現状の静かなギャラリーがとてもいいです。（70代以上）
- ・ お茶の美味しい淹れ方や静岡の食材を用いた料理方法などのワークショップがあったら参加したいです。カフェも併設されていたら嬉しいです。（50代）
- ・ 子ども連れ、特に乳幼児連れでも気兼ねなく来場できる、声を出して騒いでもいいような体験型イベントがあると嬉しいです。（30代）
- ・ 水族館（50代）
- ・ 同じ日に常設とイベントが2〜3つ位を同時に見られるのがいいと思います。子どもや年配や障がい者の作品を常にアピール出来るものもいいと思います。（50代）
- ・ 模型の町静岡を積極的に売り出す、プラモデル関連の常設展示を考えて見たらどうか？（70代以上）
- ・ 静岡市が舞台のサブカルチャー(アニメや漫画等)の展示等。食品サンプルのギャラリー。静岡のお茶のこと。リサイクルのこと。（30代）
- ・ 草花の展示が見たいです。（70代以上）
- ・ 残念ながら、プロの魅力的な油彩画などでなければ、駅から遠くてアクセスが悪く、駐車場に困る施設に行きたいとは思わないです。（60代）
- ・ 静岡市出身の作家を応援するようなイベント（50代）
- ・ ドールハウスやミニチュア製作が趣味なので、その関連のあるものは興味があります（50代）
- ・ プロ・アマチュアの写真展（70代以上）
- ・ 音楽（ピアノやその他楽器のソロ演奏、室内楽、雅楽、囃子方（おやはし）、バンドなど）の演奏。プロの奏者だけでなく、中高大学生の部活動、市民の音楽サークル、地域の祭りで活躍する囃子方グループ、市内で活動するバンドなど多様な市民による音楽を聴きたい。（10代）
- ・ 静岡市民の舞台劇グループの舞台稽古や一般公開など。（70代以上）
- ・ 有名な芸術家やトークショーや、体験型の展覧会があると興味が湧きます。（50代）
- ・ 著名人の講演会やコンサート（50代）
- ・ 全国的に知名度のあるアーティストの作品展示。（50代）
- ・ 親子で楽しめるイベントなどがあると訪問しやすいと思います。（50代）
- ・ 静岡市から見られる富士山の絵画展（60代）
- ・ 色々と体験できるイベントがあれば、子供と足を運ぶと思います。（30代）
- ・ 日本に移住してきた人が、海外の暮らし、文化を伝え学べる事。（50代）
- ・ 展示物だけではなく簡単な音楽イベントなどをやってもいいような気がする（40代）
- ・ 子どもや親子で参加できるイベントや体験（30代）

- ・静岡に縛らない、幅広く「深み」のある芸術作品の展示。ギャラリーへの訪問者は大小あれど「気付き」を求めている気がする。静岡に限らない展示で利用者を集めつつ、静岡に関する展示を推すことで見てもらえるといいかと思う。(20代)
- ・こども園や小学校などこどもの作品展(30代)
- ・静岡市民ギャラリーの良さ、格質の高さ、偉大さを知るスタンプラリー(景品付き)があったら参加したい。まず、親子で行ってつまらないキラキラして楽しめるようなイベントで静岡市民ギャラリーに足を踏み入れる機会を増やして欲しい。(40代)
- ・後継者育成を兼ねた、伝統工芸などを実際に体験できるイベント。(40代)
- ・1日講座(書道や華道など)(60代)
- ・発明展や工芸展があれば良いのでは(70代以上)
- ・書道家、金澤翔子さんのライブパフォーマンス。著名人の絵画の展示、著名な華道家、家元の招致(40代)
- ・子どもたちが夏休みの宿題で制作したものの展示があったら見てみたい。(40代)

問6 あなたが「静岡市民ギャラリー」に期待することや望むことを選んでください。(いくつでも)

(人)

問6	計
文化活動の発信拠点となっていること	49
気軽に立ち寄って文化芸術を楽しむことができる場所であること	113
歴史的建築物の魅力を活かした格式ある展示場所であること	48
多様な文化活動の表現者に発信の場を提供すること	55
学校や会社帰りなどに立ち寄れる場所であること	56
文化を通して交流が図れる場所であること	39
作品の鑑賞だけでなく、実際に体験できるイベントが実施されていること	56
デジタルアートなど新たな表現方法の作品について紹介していること	31
大人だけでなく幼児を含めた親子連れも楽しむことができる空間であること	56
特定の思想に偏らず公平に多くの人を楽しむことができる表現空間であること	57
現状に満足しているため、望むことはない。	5
その他	10
総計	575

<その他の意見>

- ・まずは静岡市民ギャラリーがあることを市民に広く知らせることが必要だと思います。(60代)
- ・無料駐車場(40代)
- ・立地が悪くてわざわざ行こうと思えない(30代)
- ・芸術に興味がない。静岡の食のイベントや情報発信の場が必要。(60代)
- ・展示時間の延長 平日は19時以降でないと立ち寄れない(30代)
- ・お手頃価格であること(20代)

- ・戦争や歴史認識への賛否等、政治的論争のある内容でも市民の表現として、怯まず展示許可を出すこと（30代）
- ・プロ、玄人やクリエイターも来たり参加したくなるもの。（50代）
- ・無料で誰でも利用できる事（50代）
- ・「静岡市民ギャラリー」自体が時代に追いつくこと。予約方法にネットは活用されていなかった。革新のない場に、感性の高い芸術は集まりにくいのではないかと思う。ぜひ頑張っていたきたい。（20代）

9 所感

全体の約6割の人が静岡市民ギャラリーを知っており、約4割の方が展示や観覧で実際に足を運んだことがあるという結果でした。

静岡市民ギャラリーに対して、「歴史ある文化財の建物の中にあって格式がある」という印象を持つ方が多い一方、「薄暗く感じる」という印象を持つ方が一定数おり、こちらの回答は設備の老朽化が起因しているかと思われます。また、作品展示会場に対して、照明機器の充実を望む方も多かったことから、施設を安全かつ快適に使用していただくために、照明を含め、設備更新について検討していきます。

現在、静岡市民ギャラリーは、展示を希望される方に芸術活動の発表の場として提供し、また、会場へ立ち寄られた方には自由に作品をご覧くださいいております。展示案内カレンダーも市ホームページで公開しておりますが、静岡市民ギャラリーを知らないという方も約4割いましたので、施設のPRにつきましては一層推進していきます。

どのようなことが実施されていれば訪れてみたいかという設問では、体験要素が含まれる事業や親子でも気軽に参加できる催しを選択、回答される方が多かったです。今までご利用になったことがない方にも効果的に周知が図れるよう、調査結果を参考に、新たなジャンルや形態の事業実施も含め検討を進めていきます。